

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和8年9月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

編集 中村美也子

令和8年9月20日発行

薩摩川内市下甕町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

これからの行事 (10月の行事予定)

2日(金) 主事 ZOOM 会議

移動診療日 (病院)

4日(日) 肺がん検診

グランドゴルフ大会

6日(火) 事務局会議

7日(水) 健康体操

18日(日) 健康サロン

18日(日) 胃癌・大腸がん検診

20日(火) 事務局会議

21日(水) 健康体操

*海岸清掃がどこかに入ってくると思います

西山敬老会

🌞9/12(土) 楽しみにしていた敬老会。明け方に雨が降り心配しましたが日が昇るころにはすっかり晴れ間が・・ホッとしました。対象者が38名でしたが参加者は29名と7割6分の方が参加されたということになります。一斉に集まる機会はこの敬老会しかないのも楽しめてもらえたのなら嬉しいです。来年も元気にこの場所でお会いしましょう。 お疲れ様でした



西山小草刈り 2回目

9/6(日)朝 7時から雨が降り出すまで1時間ちょっと、頑張りました。その後も有志の方で何日かかけきれいに整地できました。体育館周りは13日に15名程ご協力いただき綺麗になりました。

ありがとうございました。



9/25 十五夜さん

きれいになったグラウンドで

お月見でもしましょうか



*9/15(火)消防立ち入り検査が行われ会長と主事で立ち合い、その後避難訓練や水消火器を使い消火の訓練も行いました。



故郷を探る ④

葛(くず)の花

クズ(カンネンカズラ)の花が咲く季節となった。民俗学者 折口信夫(おりくちしのぶ)は、歌よみとしては、釈超空(しゃくちょうくう)という名をもつ。「葛の花踏みしだかれて、色あたらし。この山道を行きし人あり」という歌がある。(釈超空は和歌に「、」や「。」の句読点を付ける)葛の花は青紫から赤紫の房状の花を咲かせて、私はこの色相が好きである。花は好きなのだが、本体は大いにジャマ植物というか、迷惑植物だ。その迷惑行為をあげると、先づ山道に侵入して、はびこり歩いていると足に引っかかり、つまずかせる。またカイモ畑にも侵入して油断しているとイモ蔓にまぎれてランナー(つる)を伸ばして深く根をはる。一度根を深くはると掘り起こすのが大変なのだ。

このような迷惑植物を有用植物に替えるのが人間の知恵だ。先づはこのツルの繊維を細かく裂いて積(う)む。この繊維をよりあわせて糸として織った織物が「クズタナシ」である。クズタナシは甑島各地で織られたが上甑瀬上では「セガミタナシ」として商品化され本土辺りへも売れわたっていたそうだ。

また、クズ根のデンプンをとったのが「クズ粉」である。冬場には、この根が太くなるそう。だから、方言名の「カンネ(ンカズラ)」の由来は、寒根(カンネ)がもとになっているという説もある。この太い根をくぐり、これを水にさらし、沈殿した物の精製を繰り返して、白くなって乾燥させたのが「クズ(葛)粉」なのだ。この粉が「クズ餅」などの和菓子の原料ともなる。またこのクズ粉は「葛根湯(かつこんとう)」の原料としても使われている。そういえば学校にあがるかあがらないかの幼い日に、風邪気味になった時、白い粉を湯でといて砂糖をまぜてトロトロのジェル状のものを吞まされていた記憶がある。あれがクズ粉だったのだろう。シンヌウラでも昔はカンネ(葛)のデンプンであるクズ粉を作っていたのだ。

今年の冬、太ったカンネを掘り出して、クズ粉作りに挑戦してみようかな。迷惑植物と思っていたカンネンカズラも十五夜綱の材料以外にも案外有用な植物であった。

*釈超空の歌碑、「葛の花踏みしだかれて、」は壱岐島の最高峰岳の辻にあった。民俗学者折口信夫として壱岐島を二回も訪れて、この和歌を詠んだという解説があった。

中村史傳

9/27 は運動会です。参加して賞品をもらって楽しんで笑って元気をつけましょう～～